

第 1 回吉富ミライづくり会議 要旨

日 時：令和 7 年 6 月 27 日（金）

13：30～15：00

場 所：住民福祉センターひだまり

参加者：住民 18 名、住民課、未来まちづくり課

○なぜごみを減らさないとならないか（大垣市の動画）

1. 次世代に引き継ぐため
2. 地球温暖化を防ぐため
3. コストを減らすため

○参加者がゴミを減らすために取組んでいる事

- ・生ごみを土に戻す…1 ヶ月以上を要する
⇒発展として、小学校の給食の残飯を土に還す取組みを実施
- Q. コンポストの価格は？
A. 4,000 円～数万円のものまで
- Q. エコまちの対象か？
A. 購入金額の 1/2 補助（上限 3,000 円）※ただし、電動式は対象外
- ・別府地区では年 3 回、資源ごみを自主的に回収し、換価することで祭りの景品代に充てている。
- ・直江地区でも同様の取組みあり（ひまわりの会？）
- ・鈴熊地区は子供会での廃品回収で同様のことを実施
（昨年度までは、小犬丸地区でも子供会での廃品回収をしていた）

○企業としての取組み

＜ハイダイ工業＞

- ・紙の再生…大分製紙に持込む
- ・水耕栽培…野菜の廃棄ゼロを実施

＜田辺三菱製薬＞

- ・フードドライブ（フードロス削減）※ゴミの分別に対する発言はなし

○リサイクル率向上に向けた取組について

(広報紙面への意見)

- 広報紙でリサイクル率を提示しているが、ただ数値を掲載しているだけ
個人が考えさせるような工夫がほしい
- 数値が良いのか悪いのかも見えてこない

(取組・アイデア)

- 紙は燃えるごみとは別に資源ごみとして分別して回収するよう検討中（住民課）
- 町民のみなさんにアイデアを募ってみてはどうか？（ハイダイ）
- 10年前はコンポストが多かった印象
⇒夏場はウジがわくので敬遠される
⇒袋式のコンポストでそのまま花を植えられるものもある
- 粗大ごみを町で集めて、必要な人とのマッチングをしてみてもどうか？
(または有料・無料での配布)
- ごみの収集を分別から見直すところから再スタートした方が良いのではないか？